T&D
保険グループ

T＆Dインド中小型株ファンド
愛称：ガンジス

第31期運用報告書（全体版）
（決算日　2026年８月10日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年２月７日から2044年２月10日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	モーリシャス籍外国投資法人である「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」投資証券および国内の証券投資信託である「T＆Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。 原則として為替ヘッジは行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	インドの証券取引所に上場する株式のうち、中小型株を主要投資対象とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
	T＆Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以下とします。
	T＆Dマネープールマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時（２月、８月の各10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T＆Dインド中小型株ファンド」は、2026年８月10日に第31期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108-0014　東京都港区芝　５－36－７

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

最近５期の運用実績、基準価額の推移等

最近５期の運用実績

決算期	基準価額			Nifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）		債券組入比率	債券先物比率	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
27期（2024年８月13日）	17,037	500	16.4	135,508.82	17.6	0.2	－	96.8	25,135
28期（2025年２月10日）	15,643	500	△ 5.2	125,769.01	△ 7.2	0.2	－	97.6	22,733
29期（2025年８月12日）	15,705	500	3.6	129,546.78	3.0	0.2	－	97.2	23,313
30期（2026年２月10日）	15,961	500	4.8	141,188.96	9.0	0.2	－	97.1	21,708
31期（2026年８月10日）	15,826	500	2.3	143,495.91	1.6	0.2	－	97.0	19,483

（注）基準価額および分配金は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）を記載しております。
参考指数はインドルピー建てのNifty Midcap 100 Index（配当込み）【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。
※当期の運用報告書より、参考指数を「Nifty Midcap 100（円換算）」から「Nifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）」に変更しております。

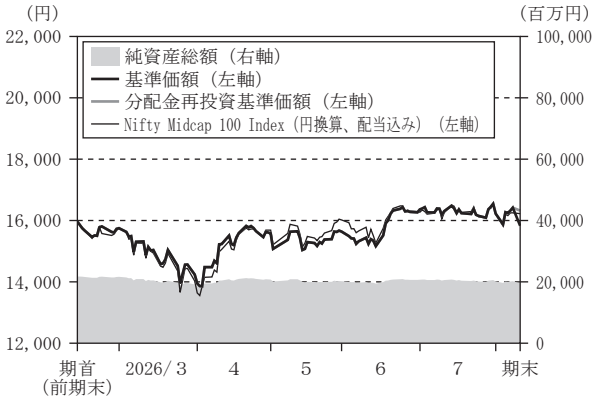
当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Nifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）		債券組入比率	債券先物比率	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率			
期首（前期末）	円	%		%	%	%	%
2026年２月10日	15,961	－	141,188.96	－	0.2	－	97.1
２月末	15,749	△ 1.3	139,302.28	△ 1.3	0.2	－	96.3
３月末	13,949	△12.6	120,639.14	△14.6	0.2	－	96.6
４月末	15,582	△ 2.4	138,790.04	△ 1.7	0.2	－	97.1
５月末	15,643	△ 2.0	141,687.67	0.4	0.2	－	97.3
６月末	16,357	2.5	143,913.55	1.9	0.2	－	97.2
７月末	16,224	1.6	143,361.88	1.5	0.2	－	97.2
期末							
2026年８月10日	16,326	2.3	143,495.91	1.6	0.2	－	97.0

（注）基準価額は１万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）を記載しております。
参考指数はインドルピー建てのNifty Midcap 100 Index（配当込み）【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第31期首：15,961円
第31期末：15,826円（既払分配金500円）
騰 落 率：2.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2026年２月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」を通じてインド株式への投資を行い、主にインドの中小型株式市場が上昇したことが基準価額（分配金再投資ベース）上昇の要因となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	1.7%
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド	0.4

■ 投資環境

【インド株式市場】

当期のインド株式市場は下落しました。2026年３月末までは、米国とイランの軍事衝突を受けてホルムズ海峡が閉鎖された影響で、同海峡を経由する原油等の流通が滞り、原油輸入国であるインドは原油の供給不足やそれに伴う原油価格の上昇により、インド国内の景気後退が懸念されて株価は下落しました。その後は、米国とイランの停戦協議開始やＲＢＩ（インド準備銀行）による政策金利据置き等を材料に、株価は上昇基調となる場面もありましたが、米国とイランの協議進展に対する不確実性等が意識されたことを受け、方向感に乏しい状況が続きました。６月中旬以降では、原油価格の下落やインド国内企業の好決算、堅調な経済指標等を好感し、短期的な上昇と下落を繰り返しながらも株価は少しずつ上昇しました。７月は、世界的な株高を牽引したＡＩ（人工知能）関連企業の株価が急落しましたが、関連企業が比較的少ないインドでの影響は限定的となりました。このような環境のなか、期を通じてみると大型株が軟調に推移する一方、中小型株は堅調に推移しました。

【為替動向】

インドルピーは対円で下落しました。期首1.73円で始まったインドルピー円は期末に1.67円まで下落しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、期首の0.74％から期末は1.05％となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や日本の財政悪化懸念、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」および「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率は当ファンドの設定解約の状況により変動しましたが概ね高位を保ち、「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」の組入比率は概ね０～１％程度を維持しました。

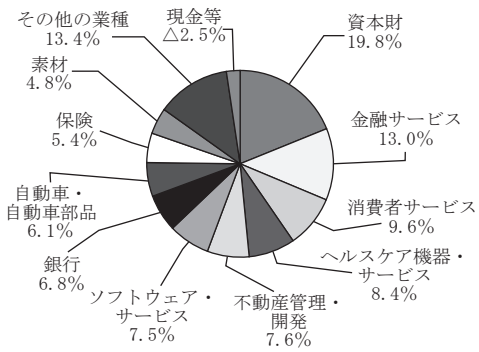
【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択にあたっては、インドの高度経済成長期において高い成長が期待でき、相対的に割安と考えられる株式を選定し、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、送電用アルミニウム電線を製造するApar Industriesや、電機設備製造を手掛けるHitachi Energy India等がポートフォリオの収益にプラス寄与しました。期末時点の組入銘柄数は39銘柄となりました。また、業種別では、Nifty Midcap 100と比較して、不動産、一般消費財・サービス等をオーバーウェイト、金融、生活必需品等をアンダーウェイトとしました。

＜ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)の組入状況＞

2026年８月７日現在（現地基準）

業種別組入比率



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	ETERNAL LTD	消費者サービス	6.5%
2	FEDERAL BANK LTD	銀行	4.5
3	UNO MINDA LTD	自動車・自動車部品	4.4
4	PRESTIGE ESTATES PROJECTS	不動産管理・開発	4.1
5	Coforge Limited	ソフトウェア・サービス	3.9
6	MAX HEALTHCARE INSTITUTE LTD	ヘルスケア機器・サービス	3.6
7	APAR INDUSTRIES LTD	資本財	3.6
8	BHARAT ELECTRONICS LTD	資本財	3.6
9	The Phoenix Mills Ltd	不動産管理・開発	3.5
10	Kei Industries Ltd	資本財	3.5

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
※業種別組入比率のマイナスは未払金等の発生によるものです。
※業種はＧＩＣＳ（世界産業分類基準）によるものです。
※組入状況は、APEX FUND SERVICES (MAURITIUS) LTDおよびインベスコ・アセット・マネジメント（インド）プライベート・リミテッドより入手したデータをもとに当社が作成したものです。なお、当ファンドへの反映を考慮して、前営業日のデータを表示しております。

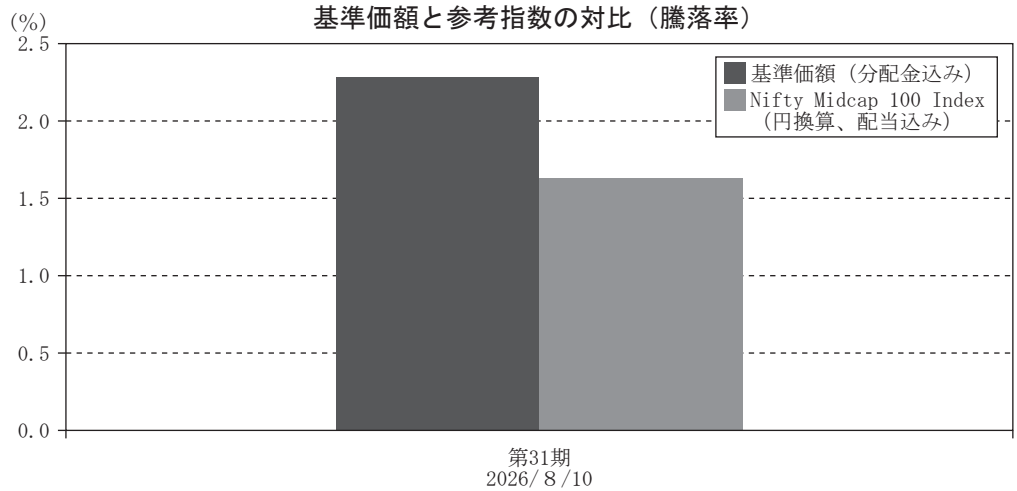
世界産業分類基準（ＧＩＣＳ®）は、Ｓ＆ＰとＭＳＣＩによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。ＭＳＣＩ、Ｓ＆Ｐ、およびＧＩＣＳ分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類（またはそれを利用することで得られる結果）に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、ＭＳＣＩ、Ｓ＆Ｐ、その関連会社またはＧＩＣＳ分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害（逸失利益を含む）について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

【Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド】

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



基準価額は期首の15,961円からスタートし、期末は16,326円（分配金込み）と2.3%の上昇となりました。参考指数であるNifty Midcap 100 Index（円換算、配当込み）は同期間1.6%の上昇となりました。個別銘柄では、送電用アルミニウム電線を製造するApar Industries等がプラス寄与しました。一方、電子機器メーカーのBharat Electronics等がマイナス寄与しました。

■ 分配金

１万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、500円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

運用の基本方針に従い「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率を高位とし、「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」の組入比率を０～１％程度で維持し、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択に際しては、株価バリュエーションに留意しつつ、バランスシートが健全で競争力が高く、中長期的な成長が期待できる銘柄に注目しており、選別強化を図る方針です。ポートフォリオ構築に際しては、国内消費関連、国内投資関連、輸出関連、ヘルスケア関連、金融化・金融包摂関連、資本市場関連といった各投資テーマのバランスを重視する方針です。

【Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれ、国内金利は緩やかに上昇しつつも比較的底堅く推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

１万口当たりの費用明細（2026年２月11日から2026年８月10日まで）

費用の明細

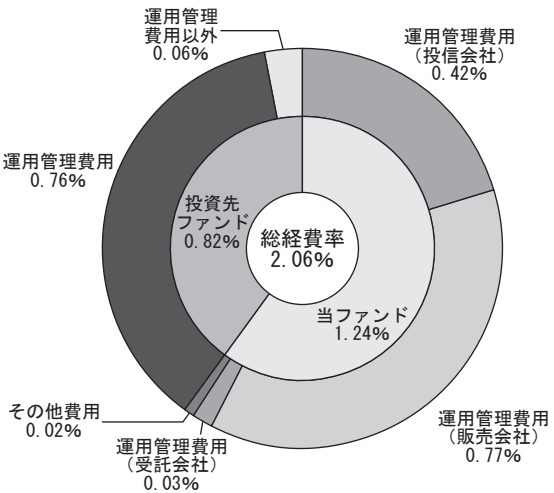
項目	当期 2026/２/11～2026/８/10 金額	当期 2026/２/11～2026/８/10 比率	項目の概要
平均基準価額	15,584円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	94円	0.605%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(32)	(0.207)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(60)	(0.382)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	95	0.613	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
（注）「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.06%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.06%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.76%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
（注）①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2026年２月11日から2026年８月10日まで）

(1) 投資信託証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
外国	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	2,286	1,013	40,198	17,872

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等（2026年２月11日から2026年８月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2026年８月10日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首（前期末）	当期末			
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	293,542	255,631	119,573	18,890,277	97.0

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は純資産総額に対する評価額の比率。
（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド	69,040	69,040	70,621

（注）Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド全体の受益権口数は198,570千口です。
（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2026年８月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	18,890,277	93.1
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド	70,621	0.3
コール・ローン等、その他	1,330,630	6.6
投資信託財産総額	20,291,528	100.0

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。
１アメリカ・ドル＝157.98円
（注）当期末における外貨建純資産（18,893,233千円）の投資信託財産総額（20,291,528千円）に対する比率は93.1％です。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年８月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	20,291,528,143円
コール・ローン等	1,330,594,376
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)(評価額)	18,890,277,510
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド(評価額)	70,621,620
未収利息	34,637
(B) 負債	807,891,682
未払収益分配金	615,556,433
未払解約金	67,174,496
未払信託報酬	123,601,873
その他未払費用	1,558,880
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	19,483,636,461
元本	12,311,128,669
次期繰越損益金	7,172,507,792
(D) 受益権総口数	12,311,128,669口
１万口当たり基準価額(C／D)	15,826円

（注）期首元本額　13,600,596,855円
期中追加設定元本額　465,055,766円
期中一部解約元本額　1,754,523,952円
（注）１口当たり純資産額は1.5826円です。

損益の状況

当期　自2026年２月11日　至2026年８月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	3,027,267円
受取利息	3,027,267
(B) 有価証券売買損益	576,760,232
売買益	682,445,922
売買損	△ 105,685,690
(C) 信託報酬等	△ 125,194,817
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	454,592,682
(E) 前期繰越損益金	1,348,593,942
(F) 追加信託差損益金	5,984,877,601
(配当等相当額)	(5,046,307,215)
(売買損益相当額)	(938,570,386)
(G) 合計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	7,788,064,225
(H) 収益分配金	△ 615,556,433
次期繰越損益金(G＋H)	7,172,507,792
追加信託差損益金	5,984,877,601
(配当等相当額)	(5,046,307,215)
(売買損益相当額)	(938,570,386)
分配準備積立金	1,187,630,191

（注）損益の状況の中で
(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,376,254円）、費用控除後の有価証券売買等損益（452,216,428円）、収益調整金（5,984,877,601円）および分配準備積立金（1,348,593,942円）より、分配対象収益は7,788,064,225円（１万口当たり6,326円）であり、うち615,556,433円（１万口当たり500円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳　（単位：円・%、1万口当たり・税引前）

項目		当期 2026年２月11日 ～2026年８月10日
当期分配金		500
	（対基準価額比率）	3.063
	当期の収益	369
	当期の収益以外	130
翌期繰越分配対象額		5,826

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

≪お知らせ≫

2026年４月１日適用で、「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が合併し「一般社団法人資産運用業協会」が発足したことに伴う名称変更について、信託約款の変更を行いました。

補足情報

Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

2026年２月11日から2026年８月10日まで

買		付	売		付
銘	柄	金　額	銘	柄	金　額
		千円			千円
第1367回国庫短期証券		141,433	第1367回国庫短期証券		19,928

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンドの組入資産の明細

下記は、Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド全体（198,570千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

2026年８月10日現在

区　分	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	122,000 (122,000)	121,907 (121,907)	60.0 (60.0)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	60.0 (60.0)
合計	122,000 (122,000)	121,907 (121,907)	60.0 (60.0)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	60.0 (60.0)

（注）（ ）内は非上場債で内書きです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
（注）残存期間が１年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

2026年８月10日現在

銘　柄	利　率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
第1367回国庫短期証券	－	122,000	121,907	2026/９/10
合　計		122,000	121,907	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

＜ご参考＞

組入投資信託証券の内容

ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）

◆当ファンドの仕組みは以下の通りです。

分類	モーリシャス籍／外国投資法人／米ドル建
運用基本方針	中長期的な運用財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	インドの証券取引所に上場する株式等を投資対象とします。
投資態度	①銘柄選定にあたっては、インド経済成長の恩恵を受けると期待され、かつ割安な水準にあると考えられる中小型株式に分散投資します。 ②株式の組入は原則として高位を保ちます。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。
決算日	10月31日
分配方針	原則として分配は行いません。（分配方針は変更されることがあります。）
投資顧問会社	ガベカル・ウェルス（モーリシャス）・リミテッド（所在地：モーリシャス）
投資助言会社	インベスコ・アセット・マネジメント（インド）プライベート・リミテッド（所在地：インド）

次ページ以降の記載は、APEX FUND SERVICES (MAURITIUS) LTDおよびインベスコ・アセット・マネジメント（インド）プライベート・リミテッドより入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

（１）損益計算書

計算期間：2024年11月１日～2025年10月31日

単位：USD

受取配当金	912,669
損益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る純損益	3,316,112
収益合計	**4,228,781**
運用報酬	1,157,930
管理費用	46,191
受託費用	30,878
監査費用	20,000
金融監督機関に支払う手数料	5,446
税理士に支払う報酬・費用	15,440
その他取引に係る為替差損益	173,605
その他費用	25,816
損益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る証券取引税	71,245
取引手数料	79,979
費用合計	**1,626,530**
税引前損益	**2,602,251**
税金	（ 979,967）
償還可能な受益証券保有者に帰属する純資産の増減額	**1,622,284**

（注）日付は現地基準です。
（注）（ ）書きは負数です。

（２）組入資産の明細

作成基準日：2025年10月31日

銘柄名	株数	評価額	比率
		USD	%
Ajanta Pharma Ltd	115,900	3,220,413	2.09
Apar Industries Ltd	33,572	3,280,989	2.13
APL Apollo Tubes Ltd	174,400	3,521,451	2.29
BEML Ltd	55,900	2,772,063	1.80
Bharat Electronics Ltd	1,236,700	5,939,287	3.86
Bharti Hexacom Ltd	178,780	3,749,532	2.44
Blackbuck Ltd	396,826	3,061,037	1.99
Blue Star Ltd	105,400	2,301,539	1.50
BSE Ltd	115,010	3,213,443	2.09
Cholamandalam Investment and Finance Co Ltd	143,600	2,746,272	1.78
Coforge Ltd	203,000	4,068,278	2.64
Creditaccess Grameen Ltd	169,500	2,719,669	1.77
Dixon Technologies India Ltd	26,000	4,540,412	2.95
Eternal Ltd	1,598,700	5,725,467	3.72
Federal Bank Ltd	1,539,000	4,104,215	2.67
HDFC Asset Management Co Ltd	86,100	5,219,911	3.39
Hexaware Technologies Limited	123,100	953,731	0.62
Hindustan Petroluem Corporation Ltd	600,200	3,220,041	2.09
Hitachi Energy India Ltd	13,970	2,799,224	1.82
Home First Finance	136,775	1,842,338	1.20
ICICI Lombard general Insurance	90,700	2,038,100	1.32
Indian Bank	466,850	4,518,323	2.94
Indian Hotels Co Ltd	522,000	4,364,311	2.84
JB Chemicals & Pharmaceuticals Ltd	147,600	2,798,648	1.82
JK Cement Ltd	31,500	2,206,176	1.43
Karur Vysya Bank Ltd	1,000,080	2,740,737	1.78
KEI Industries Ltd	71,900	3,267,442	2.12
KPIT Technologies Ltd	205,800	2,706,219	1.76
Krishna Institute of Medical	163,386	1,327,818	0.86
L&T Finance Holdings Ltd	1,090,000	3,323,044	2.16
Lupin Ltd	147,400	3,262,021	2.12
Mankind Pharma Ltd	69,800	1,875,513	1.22
Max Financial Services Ltd	173,800	3,029,410	1.97
Max Healthcare Institute Ltd	453,200	5,862,927	3.81

銘　　柄　　名	株　数	評価額	比　率
		USD	%
Mazagon Dock Shipbuilders Ltd	54,000	1,660,947	1.08
Medi Assist Healthcare Services Ltd	259,400	1,664,738	1.08
Multicommodity Exch India	21,540	2,244,091	1.44
Muthoot Finance Ltd	73,600	2,636,852	1.71
PB Fintech Private Ltd	227,000	4,567,934	2.97
Persistent Systems Ltd	51,400	3,427,628	2.23
Prestige Estates Projects Ltd	107,000	2,104,083	1.37
Safari Industries (India) Ltd	68,300	1,643,374	1.07
Sai Life Science Ltd	233,000	2,411,302	1.57
Suzlon Energy Ltd	6,419,000	4,290,229	2.79
The Phoenix Mills Ltd	184,200	3,493,244	2.27
Trent Ltd	57,400	3,036,974	1.97
TVS Motor Co Ltd	45,400	1,795,397	1.17
TVS Motor Co Ltd- Unlisted	181,600	20,468	0.01
UNO Minda Ltd	481,400	6,701,959	4.36
Vishal Mega Mart Limited	1,207,833	1,969,717	1.28
合　　計		155,988,938	101.36

（注）日付は現地基準です。
（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

運用報告書（全体版）　第43期（決算日　2026年６月10日）
（計算期間　2025年12月11日から2026年６月10日）

「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」は、2026年６月10日に第43期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近５期の運用実績、基準価額の推移等

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
39期（2024年６月10日）	10,134	0.0	60.0	－	245
40期（2024年12月10日）	10,137	0.0	61.4	－	240
41期（2025年６月10日）	10,155	0.2	64.2	－	220
42期（2025年12月10日）	10,178	0.2	65.1	－	217
43期（2026年６月10日）	10,213	0.3	60.0	－	202

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

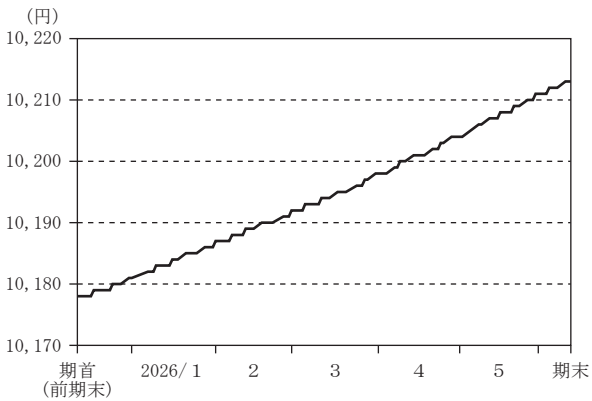
当期中の基準価額等の推移

年　　月　　日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
期首（前期末） 2025年12月10日	円 10,178	% －	% 65.1	% －
12月末	10,181	0.0	65.1	－
2026年１月末	10,187	0.1	65.1	－
２月末	10,192	0.1	65.0	－
３月末	10,198	0.2	65.5	－
４月末	10,204	0.3	60.0	－
５月末	10,211	0.3	60.0	－
期　　末 2026年６月10日	10,213	0.3	60.0	－

（注）基準価額は１万口当たり。騰落率は期首比。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,178円からスタートし、期末は10,213円となりました。運用対象である国庫短期証券やコール・ローン等の利回りがプラスで推移したことから、基準価額は上昇しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、期首の0.58%から期末は0.95%となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や日本の財政悪化懸念、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれ、国内金利は緩やかに上昇しつつも比較的底堅く推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

１万口当たりの費用明細（2025年12月11日から2026年６月10日まで）

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況（2025年12月11日から2026年６月10日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	141,433	19,928 (142,000)

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。
（注）（ ）内は償還等による増減分です。

主要な売買銘柄（2025年12月11日から2026年６月10日まで）

公社債

買		売	
銘柄	付金額	銘柄	付金額
	千円		千円
第1367回国庫短期証券	141,433	第1367回国庫短期証券	19,928

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2025年12月11日から2026年６月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2026年６月10日現在）

下記は、Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド全体（198,570千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	122,000 (122,000)	121,731 (121,731)	60.0 (60.0)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	60.0 (60.0)
合計	122,000 (122,000)	121,731 (121,731)	60.0 (60.0)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	60.0 (60.0)

（注）（ ）内は非上場債で内書きです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
（注）残存期間が１年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
第1367回国庫短期証券	－	122,000	121,731	2026/９/10
合計		122,000	121,731	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2026年６月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	121,731	60.0
コール・ローン等、その他	81,077	40.0
投資信託財産総額	202,808	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年６月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	202,808,647円
コール・ローン等	81,075,690
公社債(評価額)	121,731,400
未収利息	1,557
(B) 純資産総額(A)	202,808,647
元本	198,570,667
次期繰越損益金	4,237,980
(C) 受益権総口数	198,570,667口
１万口当たり基準価額(B／C)	10,213円

（注）期首元本額　214,094,289円
　　期中追加設定元本額　147,204円
　　期中一部解約元本額　15,670,826円
（注）１口当たり純資産額は1.0213円です。
（注）当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

Ｔ＆Ｄインド中小型株ファンド	69,040,591円
エマージング債券投信（円コース）毎月分配型	5,339,572円
エマージング債券投信（円コース）年2回決算型	1,731,068円
エマージング債券投信（米ドルコース）毎月分配型	6,884,550円
エマージング債券投信（米ドルコース）年2回決算型	1,424,313円
エマージング債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	6,489,753円
エマージング債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	664,851円
エマージング債券投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	50,273,085円
エマージング債券投信（ブラジルレアルコース）年2回決算型	2,834,026円
エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	614,593円
エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	624,969円
エマージング債券投信（カナダドルコース）毎月分配型	555,674円
エマージング債券投信（カナダドルコース）年2回決算型	32,310円
エマージング債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	23,292,362円
エマージング債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型	3,988,327円
エマージング債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	15,489,184円
エマージング債券投信（トルコリラコース）年2回決算型	2,464,915円
エマージング債券投信（金コース）毎月分配型	3,974,765円
エマージング債券投信（金コース）年2回決算型	2,773,196円
T&Dインド中小型株ファンド（毎月決算型・予想分配金提示型）	78,563円

損益の状況

当期　自2025年12月11日　至2026年６月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	751,584円
受取利息	751,584
(B) 有価証券売買損益	△ 5,554
売買益	50
売買損	△ 5,604
(C) 当期損益金(A＋B)	746,030
(D) 前期繰越損益金	3,801,758
(E) 追加信託差損益金	2,796
(F) 解約差損益金	△ 312,604
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	4,237,980
次期繰越損益金(G)	4,237,980

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

≪お知らせ≫

2026年４月１日適用で、「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が合併し「一般社団法人資産運用業協会」が発足したことに伴う名称変更について、信託約款の変更を行いました。